



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

図書館お役立ちツール

～中日新聞記事データベース～

もう一度読みたい記事がある、子どもが生まれた日の出来事を知りたい、見出しも掲載日も分からないけど調べたいことがある！はい、「キーワード」で簡単に検索できて便利です♪愛知・岐阜・三重県下のほぼ全ての地方版も収録されています。



図書館に入った本

毎月たくさんの本やCDが入るよ！
一部を紹介するね♪



『星をつなぐ手 桜風堂ものがたり』
村山 早紀／著 PHP 研究所



桜風堂書店を託された一整だが、小さな書店では人気作の配本もなく出版の営業も相手にしてくれない。そんな折、昔在籍していた書店のオーナーから呼び出され…。



小説 『蝶のゆくえ』

葉室 麟／著 集英社
『ブロードキャスト』
湊 かなえ／著 カドカワ



生活 『夫婦ではじめる快適老後の生活設計』

須藤 暁子／著 集英社



料理 『陽からあたたまる

たなかれいこ 的料理のきほん』
たなかれいこ／著 朝日新聞出版



人生劇 『アラカン・サバイバルブック』

横村 さとる・地曳 いく子／著 集英社



『豊川海軍工廠挽歌』

小野田 徳枝／著

当館製作。デジター図書は、本を読むのが困難な方のための録音図書です。

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は
お気軽に職員にお尋ねください。

読む



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

新しい生物を迎え入れる

■情報収集

ものすごく秘密に、というわけではないのですが、ちょっとだけコソコソと水面下で新しい生き物を迎え入れる準備をしています。同じような仲間の生き物は現在

飼育してうまくいっているのですが、種類が違い生息地も体格も性格も違うのでしっかり調べて準備することが必要であると考えています。そのためスタッフらには飼育している全国の他の水族館に研修に行ってもらったり、情

報収集などをしてもらっています。そういう私も知っていて損は無いし、少しは関わるだろうし、もしもの時には少しでも役に立って

「館長つてやっぱりスゴイな」と言ってもらいたい下心もあり先日の休みの日に三重県の水族館に行ってきました。

■情報を教える特殊な職業

どんな生き物の場合でも、他の施設に習いに行く時はあらかじめ先方の施設の飼育担当者にアポを取ってから行くので歓迎してくれて詳しく教えてくれます。命を扱う事なので何でも教えてくれます。

これは他の職種の会社ではなかなか無いことだと思えます。ラーメン屋で言えば秘伝の味を他店に教えるようなものですかね。

以前からの顔見知りの飼育担当者なのでこちらも何でも聞いてできるだけ多くの情報を得ます。今回は導入直後にしっかりとエサを食べてくれるのか、与えるエサの種類、その生き物がかむのか、かまれた時の対処法を教えるもらいました。かむ生物というのはかまれたことのある人にとってはなかなか英雄的な、場合によっては笑話になるのですが、かまれたことのない人にとっては不安以外の何物もありません。「かまれたらねえ、なかなか痛いですよ」と先方は笑って言う。やめてほしい。こっちはかまれない方法を知りたいのだ。

■不安材料を無くすために

目的の生物は当初春ごろに来る予定でしたが、現地の気候や捕獲状況がうまくいかず延期になっており、現在は条件がそろって2度目のチャンスシーズンとなっています。異常気象などでやや生き物たちに影響が出ているようので心配です。

カピバラの時もそうでしたが、いざ水族館にやってくる時が決まると一気に歯車が動き始めて慌ただしくなります。いつ来るかな、来月かな、その次かなと待っているのは楽しみな反面、少し不安でもあり、その不安を自信に変えるためにはあらかじめ情報収集や段取りの確認をしなければいけません。